

環境マネジメント

当社は、地球環境問題に取り組むための基本となる、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しています。法律の順守はもとより、企業活動における改善目標の達成をめざし、日々活動を行っています。

環境マネジメントシステム

広範な地球環境問題に取り組むため、環境ボランティアプランを定め、これに基づく「環境活動会社方針」を年度ごとに策定しています。また、この実施・推進のため、CSR推進委員会を中心とした組織体制で、PDCAサイクルに沿った継続的改善活動を行っています。

環境ボランティアプラン

地球環境行動指針

当社の企業理念である「企業の成長をめざすと共に、豊かな社会の発展に貢献する」ことを実現するために、企業活動の中で地球環境との共生、調和を図ることを表明しています。

地球環境行動計画

「地球環境行動指針」に基づき、取り組むべき重点項目を抽出して具体的な目的・目標を設定し、その実現のための行動計画を定めています。

環境活動方針

「地球環境行動計画」に基づいた具体的な目標を、段階的に実施していくために「環境活動方針」を年度ごとに策定しています。活動方針を具体的に示すことで、各工場の目標にも組み込まれ、より着実に取り組みを進めています。

2007年度の環境活動方針は右記の通りです。

地球環境行動指針

1. 製品の設計・生産・廃棄にいたる全ての段階を通して環境保全に積極的に取り組みます。

- ①資源の有効利用の可能性を追求し、省資源・リサイクルに徹底して取り組みます。
- ②省エネルギーの目標を売上高エネルギー単位数で年率1%の向上におき、省エネルギーを推進します。
- ③生産活動においてゼロエミッションをめざし、廃棄物削減と省資源活動を推進します。

2. 地球環境問題に対する技術開発を推進し、環境保全に貢献します。
3. ニッパツグループとして環境問題に取り組むと共に、社会・地域の環境保全に積極的に取り組みます。

地球環境行動計画

1. 推進体制

- ①組織体制
- ②関連規程整備と管理

2. 個別課題への取り組み

- ①工場立地における環境配慮
- ②公害防止
- ③省エネルギー及びCO₂削減
- ④循環型社会への取り組み
- ⑤特定フロン等の全廃
- ⑥環境負荷を考慮した製品設計・技術開発
- ⑦有害化学物質の削減
- ⑧物流の合理化
- ⑨環境マネジメントシステムの確実な運用とレベルアップ
- ⑩グリーン調達の推進

3. 広報・社会活動等

- ①広報
- ②情報提供
- ③従業員教育
- ④社会活動への取り組み

4. 海外における活動

環境活動方針

1. 環境ボランティアプランの着実な推進

- ①グループを含めた環境マネジメントシステムへの対応
- ②地球温暖化防止活動の推進
- ③ゼロエミッションへの取り組み
- ④環境関連法令への適合（コンプライアンス）
- ⑤環境負荷を考慮した製品設計開発への取り組み
- ⑥生産工程での環境負荷物質の削減

2. 環境経営への取り組み

- CSR報告書の刊行（環境報告書第7号）

3. 全従業員の環境意識高揚と地域社会貢献活動の推進

環境保全推進体制

組織体制

2005年7月、全社のCSRを推進するためCSR推進委員会が発足しました。このCSR推進委員会には、社会貢献活動分科会と地球環境対策分科会が設けられ、従来の地球環境対策委員会は後者の分科会に改組されました。その後、2005年11月に内部統制分科会が創設され、現在にいたっています。

地球環境対策分科会では環境活動に関する内容を一元的に審議し、「地球環境行動計画」を実践していきます。

地球環境対策分科会には、重要課題を検討する5つの下部組織があります。また、国内関連会社とも連携するため連絡会を設けています。

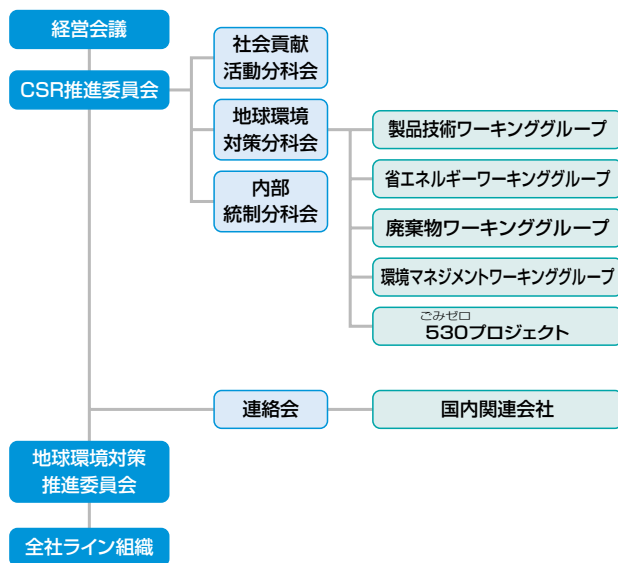
さらに工場長を中心とする地球環境対策推進委員会を設け、CSR推進委員会で決定された方針および目標を、各部門で確実に実施・展開しています。

このほか、循環型社会への取り組みとしてゼロエミッションをめざし2000年11月、530（ごみゼロ）プロジェクト [▶P27] を発足させました。その第1段階として横浜事業所においてゼロエミッションを達成し、第2段階として全工場でのゼロエミッションを達成しました。現在は第3段階として国内関連会社のゼロエミッションを達成すべく取り組んでいます。

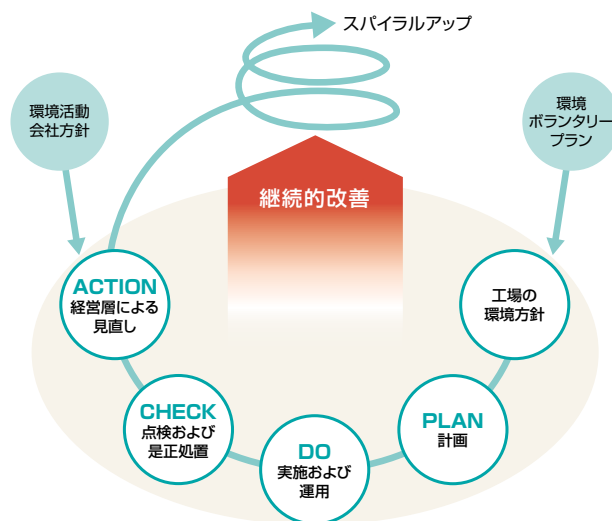
PDCAサイクル

「環境ボランティアプラン」と「環境活動会社方針」の指標を基礎とし、各工場では独自で取り組むべき項目を抽出し、「工場の環境方針」および「環境マネジメントプログラム（環境改善計画）」を立てています。これらに基づき、各工場はPLAN・DO・CHECK・ACTIONを一周期とするPDCAサイクルに沿って、日常の環境改善活動を継続的に進めています。

●環境保全推進体制図



●PDCAサイクル



ISO 14001と環境監査

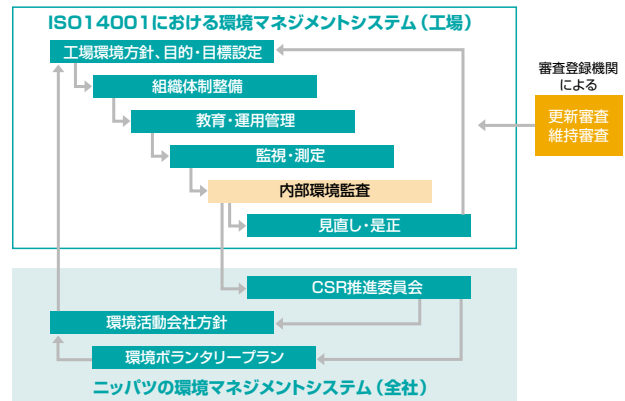
当社は、環境保全に組織的に取り組むため、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しています。また、環境マニュアルに沿った的確な管理を実施し、実効のある環境パフォーマンスを達成していくため環境監査を実施しています。

ISO 14001

環境保全に組織的に取り組むため、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得を進めており、2001年4月までに、国内11工場すべての生産拠点で認証取得を達成しています。また、国内関連会社の認証取得も積極的に支援しており、全23社中、18社が認証取得を達成しています。[▶P29]

さらに、環境監査を実施し、当社の環境マネジメントシステムがISO14001に従って適切に運用されているかをチェックするとともに、環境関連の法令の順守、環境パフォーマンスの向上、改善課題の抽出と管理能力のレベルアップを図っています。

●環境マネジメントと環境監査



環境監査

内部環境監査

内部環境監査の監査メンバーは、専門教育を修了したものが担当します。主任監査員を本社安全環境部が務め、監査チームは当該事業部、他事業部の代表監査員の3名で編成します。2006年度は全11工場に対し右記の通り行い、システムの適切な運用の確認を行いました。

この監査の結果は、各工場の最高責任者である工場長に報告し、改善事項について見直し是正が図られます。また、全工場の監査結果はCSR推進委員会に報告し、必要に応じて環境活動方針および環境ボランティアプランへ反映されます。

また、2007年度からは海外の関連会社にも内部環境監査を開始しました。2007年度は、10社に対し実施予定です。



内部環境監査 (中国NUS社)

●2006年度内部環境監査実施状況

時期	工場名
4月	野洲工場
6月	産機駒ヶ根工場
7月	豊田工場
8月	DDS駒ヶ根工場
9月	厚木工場/シート横浜工場/伊那工場
10月	ばね横浜工場/伊勢原工場
11月	滋賀工場
12月	群馬工場

外部審査

外部審査では、環境マネジメントシステムがISO14001の要求事項に適合し、運用されているかを外部の審査登録機関が審査します。原則毎年行う維持審査と、3年に1度行う更新審査があります。

2006年度は全11工場で外部審査が行われ、8つの工場で維持審査を、3つの工場で更新審査を受審しました。その結果、各工場とも環境マネジメントシステムが適切に運用され、汚染の予防と継続的改善が図られているという判定を得ています。

環境教育・啓発活動

すべての従業員が、環境に対する知識と高い意識を持ちながら日常業務にあたる企業をめざし、様々な環境教育と啓発活動を行っています。

環境教育

環境保全活動を推進するためには、従業員一人ひとりの環境意識の向上が重要です。当社は、社内教育制度の充実を図り、各種環境教育、内部環境監査員の養成および各種的な資格取得の促進を行い、啓発活動を展開しています。

環境教育は、従業員全員を対象とした階層別教育と、環境に関わる業務担当者を対象とした専門教育を行っています。

階層別教育は人事教育体系の中に織り込み、昇進の機会ごとに繰り返し行っています。専門教育には、新たにその任に就いた時に行う新任時研修と繰り返し行うスキルアップ研修があります。



内部環境監査員セミナー

●環境関連の資格取得者数(2007年10月現在)

単位:名

資格	分類	取得者数	資格	分類	取得者数	
公害防止管理者	大気 1種	12	エネルギー管理士	熱	12	
	大気 その他	28		電気	13	
	水質	1種	9	作業環境測定士	粉塵	5
		水質 その他	28		特化物	4
	騒音	53	金属		2	
	振動	35			有機	5
ダイオキシン	1	2種	4			
内部環境監査員		228	環境計量士	濃度関係	3	
環境マネジメントシステム審査員	主任審査員	1				
	審査員	1				
	審査員補	2				

●環境教育の内容

分類	対象者	教育内容	
階層別教育	新入社員研修	地球環境問題と環境マネジメントシステム 行政・業界指針とニッパツの取り組み	
	新任係長研修		
	新任主任研修		
	新任基幹職研修		
	対象者	新任時研修	スキルアップ研修
専門教育	内部環境監査員	内部環境監査員養成研修	内部環境監査員研修
	部門環境管理者(工場長)	環境マネジメント基礎研修	工場長研修
	環境管理責任者(担当課長)	環境マネジメント構築研修	環境管理責任者研修

啓発活動

環境月間である6月に地球環境フォーラムを毎年開催し、環境展や講演、環境保全活動の優れた事例発表などを行い、当社および関連会社従業員の意識向上と啓発を図っています。

また、従業員の積極的な環境保全活動を促すため、サークル活動や提案で意識を高めるとともに、環境提案の年度優秀表彰を実施しています。

そのほか、社内報とイントラネットに各事業所・工場の環境に関する取り組み状況を掲載し、活動の横断的な展開を図っています。



地球環境フォーラム



各職場で積極的に行われているサークル活動



社内報「ニッパツai」